

木と太陽の設計術

新しい
時代を拓く
秋のセミナー

10月1日(火)~10月2日(水) 開催地: 東京 参加費 A・B・C各7,000円/人(税込・昼食各自)

何が起こる、何が始まる。この秋は3つのテーマで連続セミナーへ。

共催 一般社団法人 町の工務店ネット・NPO法人 家づくりの会
・LEXS研究会・一般社団法人 田園居住推進協議会

協賛

株式会社新建築新聞社・株式会社住宅産業新聞社・株式会社エープラス・
丸天屋工業株式会社・株式会社マツナガ・株式会社タニタハウジングウェア・
日本ボイト株式会社・ヤマチ株式会社・BX TOSHO株式会社

先の参議院選挙で、「老後2000万円問題」が浮上し、マネーハックのキーフレーズになりました。かつて家づくりは「人生の華」でしたが、住宅マーケットの大半を占める中間層にとって家は、「人生を犠牲にしないで、いかに飲べる家を生めるか」に移行することでしよう。一方、地域の木の建築の現状は、国の施策と掛け声の割にめざ

ましい結果を得られていません。私たちは、中規模木造に特化し、地域の設計者と工務店の共同連携をはかることで、新しい可能性を拓くべく取り組みを開始しました。さらには「気候の危機」に直面する中で、エアコン依存のあり方を超える方法への模索が始まっています。これらの全体を視野に入れた中身の濃いセミナーにしたいと、準備しています。



A 中規模木造がおもしろい

10月1日(火) 9:30~12:30 会場/ 建築会館ホール(定員200名)

講師

設計者と工務店の共同連携の取組みへ、木と土の建築を存分に語ろう。

泉幸甫
泉幸甫建築研究所

秋田からの発信! 性能が大切なのは、建築を練るためでなく、自由を得るためだ。

西方里見
西方設計

「道山」から20年、木造のおもしろさは、架構の自在性と、構造の合理性にある。

山辺豊彦
山辺構造設計事務所

町心ふはプランでなく、スタイルを標準化することでかつて町家は、「定番」であり得た。

趙海光
ぶらんにじゅういち(チームおひさま)

施設建築では向のこと、環境負荷が少なく、融通性があり、堅固な建築であること。

藤原昭夫
箱詰設計(家づくりの会)

自然素材を用いた、質実なデザインで、地域に長く生き続ける建物を生みだしたい。

松本直子
松本直子建築設計事務所(家づくりの会)

人口減と空き家の増加を受け、今後、新築戸建は減少します。広く・高く・開放的、親しみがあがり、かつ劇的な空間性を持った中規模木造建築の好例を発表します。面剛性のCLTと異なる、柱と梁で構成される、木造ならではの架構のおもしろさを追います。

5人のプロジェクトメンバーによる、発表と検討会

【発表者】

山辺豊彦・趙海光・
半田雅俊のほか、
村田直子(MOON設計)
・久保潤一(スタジオあさか)
の5人がチームを組んで
ファシリテーター
小池一三
町の工務店ネット
挑みます。



B 人と自然をつなぐ建築の未来形

10月1日(火) 13:30~17:00 会場/ 建築会館ホール(定員200名)

講師

最近の事例をご紹介し、高島・萩射を基盤として、ペニンシアハウスの視念に立ちあがりたい。

堀部安嗣
堀部安嗣建築設計事務所

エコとエネルギーの方法を用い、高島・萩射を基盤として、人と自然の関係をシミュレーションしてみた。

宿谷昌則
建築環境学
東京都市大学名誉教授
(LEXS研究会)

今の建築が失ったものを、そでついでついでを、互恵の学びの場観念に立てし、心動かしたい。

小玉祐一郎
エスチック計画研究所
神戸芸術工科大学名誉教授

建築と環境を巡って30年。Q1住宅と空気集約システムをコアテーマを出して、比較・検証してみました。

荻原幸久
エスチック計画研究所
(チームおひさま・LEXS研究会)

【工務店報告】
シンクは、しっかりと集熱する・熱を床下に蓄熱する・室内にゆっくり放射させるやり方で通してきた。屋根に太陽が降り注いでいるのに太陽が主人の家の住宅を何故やらないのか? それがお不思議でならない。

迫英徳
シンケン

温暖化で雨量が6.5%も増加し、「気候の危機」が伝えられています。脱炭素の建築はいかにあるべきか? セミナーに結集した講師陣は、過剰激的な方法に依らずに省エネ性と快適性とデザイン性とを融合させ、これから真に求められるローエナジーの未来形を解きます。

どんな話が飛び出すか、期待が大きい
パネルディスカッション

人と自然をつなぐ設計をめぐって
【パネラー】

堀部安嗣・宿谷昌則・
小玉祐一郎・荻原幸久



C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学

10月2日(水) 10:00~16:30 会場/ 自由・自由学園 明日館(定員120名)

都市のコンクリート化がいつそう進み、それは都市郊外へと延長してスプロール(虫食い)化し、緑のデザインは切なさを増しています。「その家は、その家の前を通る人の家でもある」という視座に立つことで生まれる緑のデザインを、今回は都市のど真ん中で実現した事例に学び、泉・田瀬講師の喋り尽くしにご期待を。「里山住宅博 開き方講座」も。

講師

田瀬理夫
造園家・プランタゴ



設計/ 泉幸甫「Apartment」



開催候補地を公募します!

お申込みは、Webサイトから

<http://tenomonogatari.jp/eventform>

手の物語

お申込みQRコードはコチラ

FAXでのお申込みご希望の方は、下記・電話・Fax番号よりお問い合わせください。セミナー事務局 / 手の物語有限公司
静岡県浜松市中区南浅田2丁目2-1
tel:053-570-9012 fax:053-570-9017